



2011.01

社会福祉協議会情報

# ふれあい

## 福智町社会福祉協議会

- |                  |   |               |   |
|------------------|---|---------------|---|
| ・新年の挨拶           | 2 | ・社会福祉協議会の事業報告 | 6 |
| ・赤い羽根共同募金へのご協力御礼 | 3 | ・社会福祉協議会の事業紹介 | 7 |
| ・地域福祉活動計画策定ニュース  | 4 | ・お知らせ         | 8 |



市場小学校にて国際交流学習

# 謹賀新年

新年明けましておめでとござります。清々しい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は福智町社会福祉協議会の運営並びに福祉事業の推進に町民各位、行政、町議会、関係機関団体などの多くの方々の格別のご厚情とご協力を頂き一年間を大過なく全とうできました。改めて感謝いたしますと共に厚くお礼申し上げます。社会情勢が変化するなか福祉をめぐる状況も多様化し、少子高齢化の急激な進行、核家族の増加、家族意識の変容、地域社会での人間関係の希薄化、子育てに対する不安など福祉課題が提起されています。このような状況において地域に密着した福祉の担い手として社会福祉協議会に対する期待はより

一層高まつており、幅広い視点を持つた活動が求められています。したがつて現在取り組みをおこなつてあります五ヵ年計画の「地域福祉活動計画」を一日も早く完成させ実施に鋭意努力する所存です。「地域で誰もが安心して暮らすことのできる福祉の町」であるためには地域住民を始め行政、町議会、関係機関団体等のご理解とご協力がなくては推進と展開が望めませんので何卒今後とも引き続きお力添えを賜りますようお願いを致します。

終わりになりましたが皆様方の益々のご健勝とご多幸を心中より祈念申し上げ新年のご挨拶に代えさせていただきます。

平成二十三年元旦

## 追記

香典返し、共同募金運動、贊助会員等の趣向にご賛同、ご協力を頂き、紙上ではござますが感謝申し上げます。

社会福祉法人 福智町社会福祉協議会  
会長 白石 勝彦



# 赤い羽根共同募金運動に ご協力ありがとうございました。

平成22年10月1日より12月31日まで、今年も赤い羽根共同募金運動を展開いたしました。期間中には戸別募金、会社募金、職域募金、街頭募金、学校募金、店舗における募金箱などに優しさあふれる募金をいただきまして誠にありがとうございました。集まりました募金は福岡県共同募金会へ送られ、来年度その約70%が福智町に配分され、さまざまな福祉活動に役立てられます。

また募金活動には、地域の区長・組長の皆さま、民生児童委員の皆さまの多大なご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

平成22年度



福智町身体障害者福祉会では、毎年赤い羽根共同募金運動として街頭募金にご協力いただいている。10月28日、スーパー川食の赤池店と方城店に分かれ募金活動をおこない、24050円のご寄附をいただきました。誠にありがとうございました。



福智町民生児童委員協議会では、福智町文化祭でチャリティーバザーの出店をし、その売り上げを赤い羽根共同募金に寄附いただいています。今年も11月6~7日に出店いただき、その売り上げ43526円をご寄附いただきました。誠にありがとうございました。



# 地域福祉活動計画策定ニュース

福智町では平成19年4月に「人権と福祉の町づくり総合計画」を策定しました。その計画を具体的に進めるために福智町社会福祉協議会が中心となって、現在住民や関係機関・団体と協働して「福智町地域福祉活動計画」を策定しています。

## これまでの地域福祉活動計画策定の経過

- 平成20年7月  
地域福祉活動計画策定委員会発足
  - 平成20年11月  
住民アンケート調査の実施
  - 平成21年2月  
住民座談会に向けての研修会
  - 平成21年3月～7月  
地区住民座談会の実施（64地区）
  - 平成21年9月～12月  
関係機関団体ヒアリングの実施  
(20団体)
  - 平成22年4月  
中津市社協視察
  - 平成22年6月  
地区作業部会ワークショップ研修会
  - 平成22年7月～9月  
地区作業部会の開催（9地区）
  - 平成22年11月  
地区作業部会まとめ報告会  
住民中間報告会
- 策定委員会 18回  
事務局会議 35回  
住民会議 3回

住  
民  
主  
人  
公  
體  
權  
尊  
重  
協  
協  
働  
がきらめくステージへ  
(福智町)

## 福智町地域福祉活動計画 基本理念

私たちの福智町は、平成18年3月に旧3町（赤池町、金田町、方城町）が合併し新政「福智町」として歩み始めています。その歩みの先にあるものは、「人権が保障され、お互いが助け合い、安心して暮らせる地域」であることです。そのためには、住民をはじめあらゆる機関や団体が連携し、福祉に対する意識を高め、完全参加と平等を基底に、希望に満ちた生活を安心して送ることのできる町を目指します。そしてその機運を高めるための取り組みがこの計画の下で行われ、すべての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげよう、社会の構成員として「ともに支えあう町づくり」として捉え、その基本となる考え方として「あなたは一人ではない。あなたを一人にしない。私は一人ではない。私は一人では生きられない。～支えられつつ支える側にも～」とし、スローガンに「主（住民主体）人（人権尊重）公（公民協働）がきらめくステージ（福智町）へ」を掲げることとします。

## 福智町地域福祉活動計画 基本目標

- 1 人権と福祉意識を携えた人づくり
- 2 地域における新たな支えあいのネットワークづくり
- 3 相談・情報提供を総合的に支援する仕組みづくり
- 4 生活ニーズに対応した福祉環境づくり

## 地域福祉活動計画策定ニュース

# 住民中間報告会を開催 11月30日（火）

平成22年11月30日午後7時より、福智町公民館金田分館において「福智町地域福祉活動計画住民中間報告会」を開催しました。行政・社協関係者、区長、作業部会委員等118名が参加しました。

開講式では社会福祉協議会白石会長、地域福祉活動計画策定委員会犬養委員長の挨拶のあと、浦田町長が挨拶、あわせて策定委員会から提出した行政課題に関する回答もいただきました。



次に策定委員会事務局の中野が地域福祉活動計画の中間報告をあこないました。策定のこれまでの経過と計画の基本となる理念やスローガン、目標を説明。少子高齢化による現在の福智町の高齢化率や高齢単身世帯率などを数値を見ながら説明し、今後の取り組みについて話しました。

福智町の高齢化率 25.4% → 5年後の高齢化率（予想） 29.8%

（全国平均 22.1% 福岡県 21.4%）

福智町の高齢単身世帯率 20.0%（5世帯に1世帯が65歳以上のひとり暮らし世帯）

福智町の出生率 8.5人 ※人口千人に対しての出生数

（全国平均 8.7人 福岡県 9.0人）

平成22年8月現在



最後に中間報告を受けて、筑紫女学園大学大院山崎安則教授に「安心して暮らせる地域へ…住民・行政・社協の役割」と題して講演をいただきました。

行政計画である地域福祉計画と社協の地域福祉活動計画がセットで策定されている市町村はまだ少ない。この両方の計画を策定することが、まずは地域福祉推進のための原動力になる。

また計画の策定にどれだけの人が関わったか、できるだけ多くの町民が関わることが大切である。

「この町はかわったな～」ではなく「この町をかえてきた」と町民ひとりひとりが感じることができるように、町と町民との「一体感」が必要である。と述べられました。

またこれから福祉では、制度や財政ではなく、「人」がすべて、「人」が資源である。住民ひとりひとりがそれぞれの役割を持つことが必要になってくる。そのための場づくり、きっかけづくりを進めていくのが福智町地域福祉活動計画の重要なポイントになると述べられました。

## バリアフリーについて学びました 子どもボランティア教室

福智町の小中学生 38 名が金田保健センターとその周辺でバリアフリーについて学びました。集合したあと、9班に分かれてクイズラリーに出発。バリアフリーに関するクイズを解きながら、点字ブロックやスロープ、福祉車両などについて知識を深めました。また保健センターの中では、身近なバリアフリーを探しました。探してみると「えっ！これもバリアフリー」というような発見が多くあったようです。最後に福祉用具について勉強。家具調のイスにしか見えないポータブルトイレや、いつも見るのとはちょっと違った杖などに興味津々でした。

子どもボランティア教室は、小中学生のボランティア意識の高揚を目的として開催しています。開催のお知らせは社協だより「きずな」や学校で配布のチラシをご覧ください。



「バリアフリー」とは、段差をなくしたりして、小さな子どもも高齢者も、障がいをもつ人ももたない人も、だれもが安心して利用できるよう、ジャマなものを取り除いたり、便利なようにすること。実際に体験することによって、よく理解できたかな？

問題① 公民館に マークのある駐車場があります。正しいものはどれですか？

- ア 車いすをあいておく場所
- イ 足の不自由な人が車を駐車する場所
- ウ 熊があるので注意

問題は全部で 11 問。ちょっと簡単すぎたようでした。次回はもっと難問を用意します。

## 趣味の教室の力作 生きがいデイサービスでの作品を文化祭で展示

生きがいデイサービスでは趣味の教室として、絵手紙教室、レザークラフト教室、書道教室、フラワーアレンジメント教室などをあこなっています。福智町文化祭では趣味の教室で作り上げられた作品がところせましと並べられました。

生きがいデイサービスは福智町在住の 65 歳以上の方で介護保険の要介護認定を受けていない方もしくは自立と判定された方が対象となります。利用にあたっては申請・審査が必要となります。詳しくは社会福祉協議会もしくは役場福祉課にお問い合わせください。



## 地域での交流をしませんか ふれあい交流のご案内



春田ふれあい交流の様子

ふれあい交流は地域の世話人が中心となり、地域の集会所や公民館を利用して月1回開催しています。主に60歳以上の方が参加しています。内容は体操や映画鑑賞、レクリエーションゲームや手芸など参加しているみなさんが話し合って決めていきます。

旧方城町で約12年前に始められたふれあい交流は、徐々に増えていき、現在では福智町の方城33地区、金田5地区、赤池6地区で開催されています。

現在福智町でも、少子高齢化や核家族化が進み、地域での人々のふれあいや近隣との係わり合いの希薄化が進んできています。住みなれたところで住民同士でたすけあい、安心して暮らせる地域をつくるために、まずは地域での交流をはじめてみませんか？

ふれあい交流の運営主体は地域の世話人をはじめとした地域住民ですが、役場人権同和対策課と社会福祉協議会が連携をとりながら、そのサポートをしています。



野添ふれあい交流の様子



市場ふれあい交流の様子

地区のふれあい交流には、役場人権同和対策課もしくは社会福祉協議会から担当者が1名つき、その運営のサポートをおこなっています。

「ふれあい交流」に関するお問い合わせは、  
人権同和対策課（ほのぼの館）TEL:22-6290  
社会福祉協議会 地域福祉課 TEL:22-3778

# 社会福祉協議会の相談事業

## 心配ごと相談

相談は無料、秘密は厳守します

家族の悩みや近隣とのトラブル、結婚・離婚問題などどんなことでも相談に応じています。社会福祉協議会で対応できる問題は直接対応していきますし、対応できない問題に関してもできるだけその他の対応できる機関を紹介いたします。

どんな問題でも、おひとりで抱えることは苦しいことです。問題を抱えている方は、おひとりで苦しまずお気軽にご相談ください。

開催日 第1木曜日 10:00～15:00 福智町役場赤池支所

第2木曜日 10:00～15:00 方城分館

第3土曜日 10:00～15:00 金田社会福祉センター

## 司法書士特別相談（予約制）

司法書士による特別相談をおこなっています。相談の内容は相続・遺言、成年後見、債務整理、少額訴訟、消費者問題、登記など司法書士業務に関するものです。相談は一人につき30分以内、予約制になります。希望される方は4日前までに電話にてお申ください。

開催日 第3土曜日 10:00～15:00 金田社会福祉センター

予約・問合せ先 福智町社会福祉協議会 総務課 TEL：22-6631

## 北九州生命保険協会より 福祉巡回車の寄贈を いただきました

北九州生命保険協会では、会員4000人のワンコイン募金の净財をもとに、毎年社会福祉施設などに福祉巡回車の寄贈をおこなっています。今回、11月24日（水）に福智町社会福祉協議会へ寄贈いただきました。福祉巡回車は地域の福祉活動を推進するため有効に使わせていただきます。誠に有難うございました。



赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございます。本誌は共同募金の配分金によって作成されています。

## 社会福祉協議会情報 ふれあい 第14号

平成23年1月発行

編集・発行 福智町社会福祉協議会 地域福祉課

所在地

〒822-1201 福岡県田川郡福智町金田1154番地2

TEL: 0947-22-3778 FAX: 0947-22-6678

ホームページ <http://we1-fukuchi.net/>